

【解答例】

I オスマン帝国は、メフメト2世時代の15世紀中頃にビザンツ帝国を滅ぼしてイスタンブルを首都とし、バルカン半島における中央集権支配を確立した。スレイマン1世時代の16世紀にはハンガリーの大半を征服したのち、ハプスブルク家に対抗して第1次ウィーン包囲を行い神聖ローマ帝国を圧迫した。また、プレヴェザの海戦でスペインなどを破って地中海の制海権を獲得し、レパントの海戦の敗北後もキプロス島を確保して制海権を維持した。その後、バルカン半島でのヨーロッパ勢力との抗争は膠着が長く続き、17世紀末に第2次ウィーン包囲に失敗すると、ハプスブルク家などの反撃を受け、カルロヴィッツ条約でオーストリアにハンガリーなどを割譲した。

(300字)

II

- A a : 大運河
(1) 燕
(3) 節度使
(5) 塩
(7) 開封 (汴州)
(9) 世界の記述 (東方見聞録)
(11) (ア) ティムール朝
(イ) 鄭和
(12) 呉三桂
- b : クビライ (フビライ)
(2) 東突厥
(4) ゴロアスター教
(6) 燕雲十六州
(8) 千戸制
(10) ペスト (黒死病)
- B c : 第2次アヘン (アロー)
e : スターリン
(13) ウラジヴォストーク
(15) 戊戌の変法
(17) 魯迅
(19) 銀
(21) ヤルタ協定
(22) (ア) アメリカ合衆国
(イ) ソ連
(23) インド
- d : 遼東
(14) 曾国藩
(16) 科挙
(18) 汪兆銘
(20) 西安事件

